

【地域において今後担うべき役割】（P11）

当医療圏での医療需要は今後も増加する傾向であり、当院は救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、地域中核災害医療センター、地域医療支援病院などの指定を受ける地域の中核病院として、地域包括ケアシステムにおける高度急性期・急性期を担い、地域の医療機関等との連携を更に強化していく。

＜具体的な取り組み＞

- ・3次救急医療を担い、緊急性の高い疾患（心筋梗塞、脳卒中、重症外傷）の受け入れ
- ・中規模病院、診療所にて保有できない設備（手術室、放射線治療等）を必要とする
専門的な治療・検査の提供
- ・外来機能の高度・専門化
（通院治療センター、内視鏡センター機能の拡充、専門外来の開設）
- ・地域医療支援病院として医師会、かかりつけ医との連携強化（紹介、逆紹介の推進）
- ・早期からの退院支援（入退院支援センターの開設）
- ・治療だけではなく地域の医療従事者ならびに地域住民に向けた教育
専門職の活用（専門医、専門・認定看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ技師 等）

【今後持つべき病床機能】（P11）

●高度急性期・急性期病床機能

当医療圏は2025年に向けて人口が微増する地域であり、入院患者の自域依存率の高い地域である。近隣の医療圏も同様に2025年に向けて人口が微増または横ばいで推移しており、他医療圏への流出は困難であり、今後も継続して当医療圏の患者を支えていく必要がある。

尾張東部医療圏	: 2025年に向けて人口は微増、2040年に微減
西三河南部東医療圏	: 2025年に向けて人口は横ばい、2040年に減少
西三河南部西医療圏	: 2025年に向けて人口は微増、2040年に微減

ゴールを2025年に見据えるのではなく、2040年に向けた病床再編の検証が必要となる。

【今後の方針】（P12）

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	191	→	191
急性期	409		409
回復期	-		-
慢性期	-		-
(合計)	600		600

西三河北部医療圏は愛知県の約 20%の面積を占める広い地域であり、へき地保健医療対策の対象地域が存在する医療圏でもある。人口は2040年までほぼ横ばいに推移するが、65歳以上の人口が大きく増加することから医療需要は高まることが予測されている。

医療圏には当院を含めて2つの基幹病院があり、それぞれが救命救急センターを有し、医療圏を北と南に分ける形で急性期医療を担い、豊田市消防からの救急車を8割近く受け入れている。また、当院は平成29年10月に地域医療支援病院として承認され、地域の中核病院として地域の診療所・クリニック等では対応の困難な専門的な治療や高度な検査、手術等を行い「地域完結型医療」の中心的役割を担っている。そして、平成30年度には回復期・慢性期を中心とする2病院の開設が予定され、後方支援病院として連携を深めていくことになる。

こうしたなか、当院は国が進める地域包括ケアシステム構築において、後方病院と連携しながら急性期病院としての役割を確実に担っていく必要がある。高度急性期、急性期の病床を運用していくため、病床機能の変更は予定していない。

【その他の数値目標】（P13～P15）

＜医療提供に関する項目＞

・病床稼働率

今後、平均病床稼働率は90%前後を目標値として運営していく。

・手術室稼働率

現在、手術室の増設といった設備投資は考えていないことから、6,000件を超え、7,000件の手術にも対応できるよう、午前中の稼働率の向上と、効率的な運用構築を目指す。

・紹介率、逆紹介率

西三河北部医療圏における当院の役割は、高度急性期、急性期病院として、救急患者や専門的な治療が必要な紹介患者を受け入れていく必要がある。当院で急性期医療提供が終わった患者については、回復期や慢性期の医療施設、介護施設、地域の「かかりつけ医」へ逆紹介するといった、地域全体での切れ目のない地域連携体制の構築を推進し、紹介率・逆紹介率ともに100%へ近づけていく。

＜経営に関する項目＞

・人件費率

過去5年間の医療収益における人件費（給与費）の比率を見ていくと50%前後で推移しており、今後も継続して50%以下となるよう、安定した収益確保に努める。

・医療業益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合

過去5年間の医療収益に占める人材育成にかかる費用の比率を見ていくと、0.35%前後で推移している。一般社団法人 全国公私病院連盟による「平成28年 病院運営実態分析調査」によると、同規模の一般病院における比率は0.5%前後であり、当院より少し高い値となっている。2025年に向けて働き手の減少も予想されるため、必要な人材を自施設で育成できるよう強化に努める。

